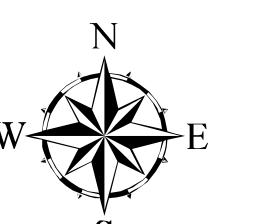


想定宮城県沖地震による銚子港津波防災情報図（引潮図）

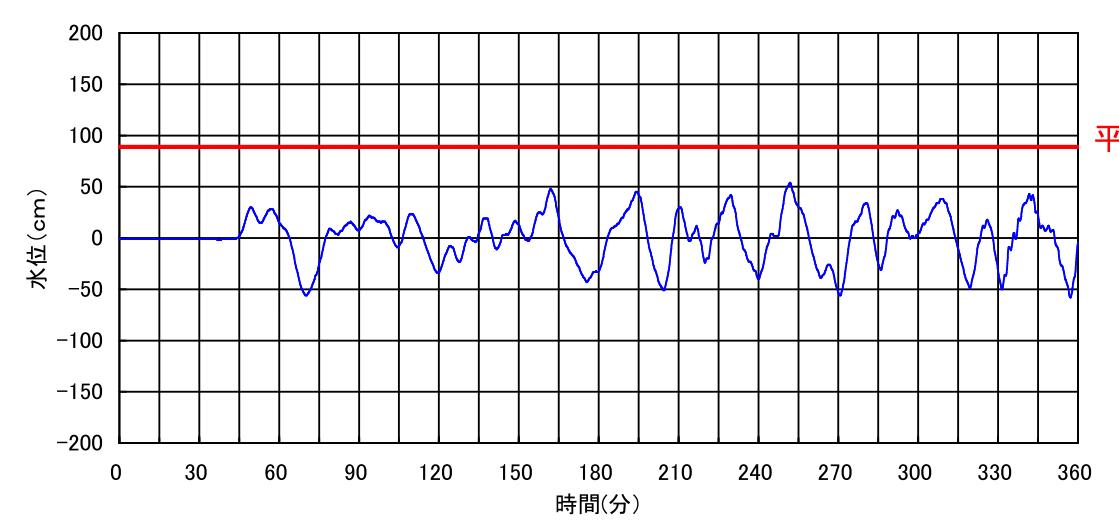


計算条件: 最低水面-50mメッシュ
隆起量: 平均-1cm

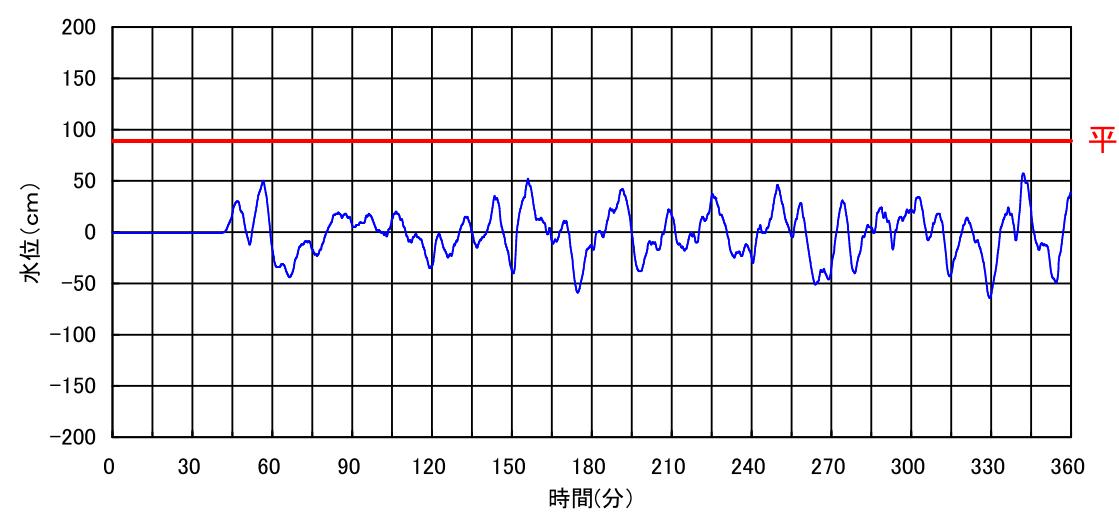
・津波は、震源の位置、規模、細かな地形の影響などにより、計算した津波と異なることがあります。過去には、今回の津波の計算より大きな津波が来たことがあります。

経時変化図：図上の位置における津波の挙動を時系列で示す。

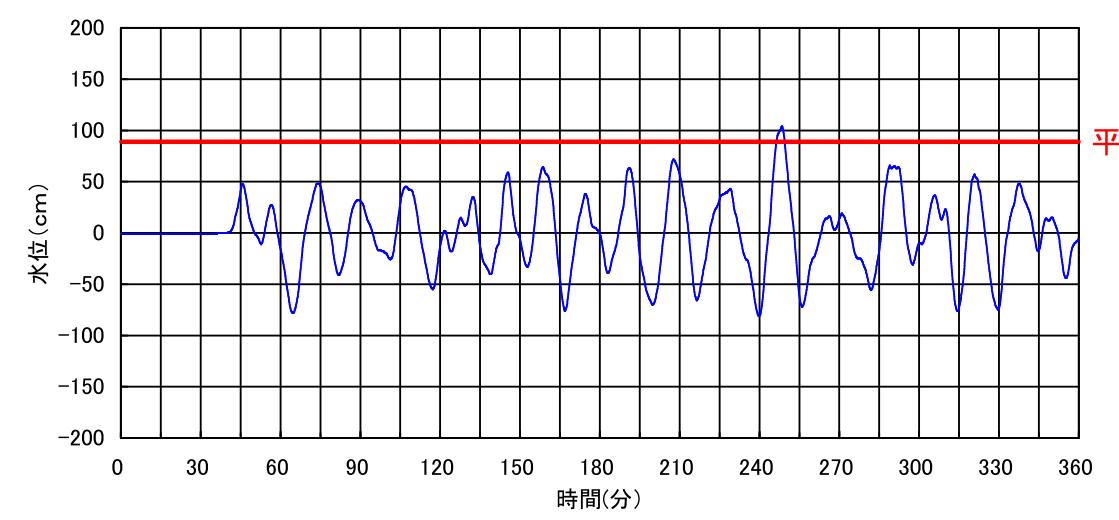
地点1



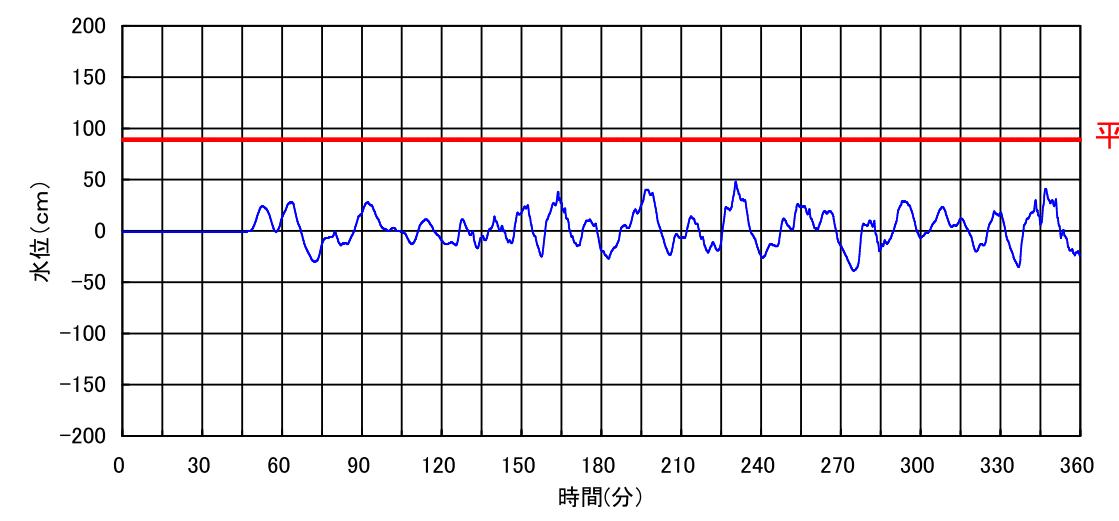
地点2



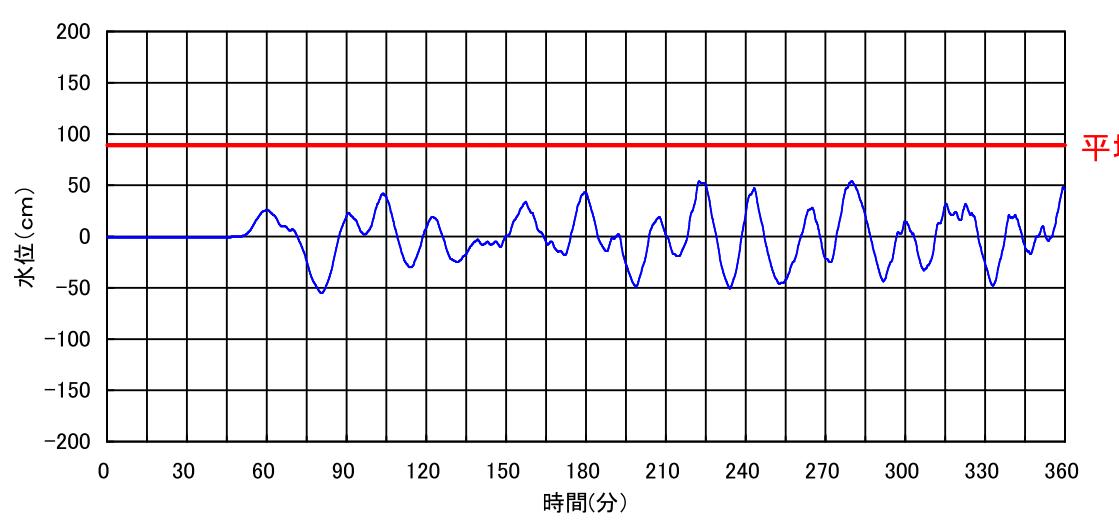
地点3



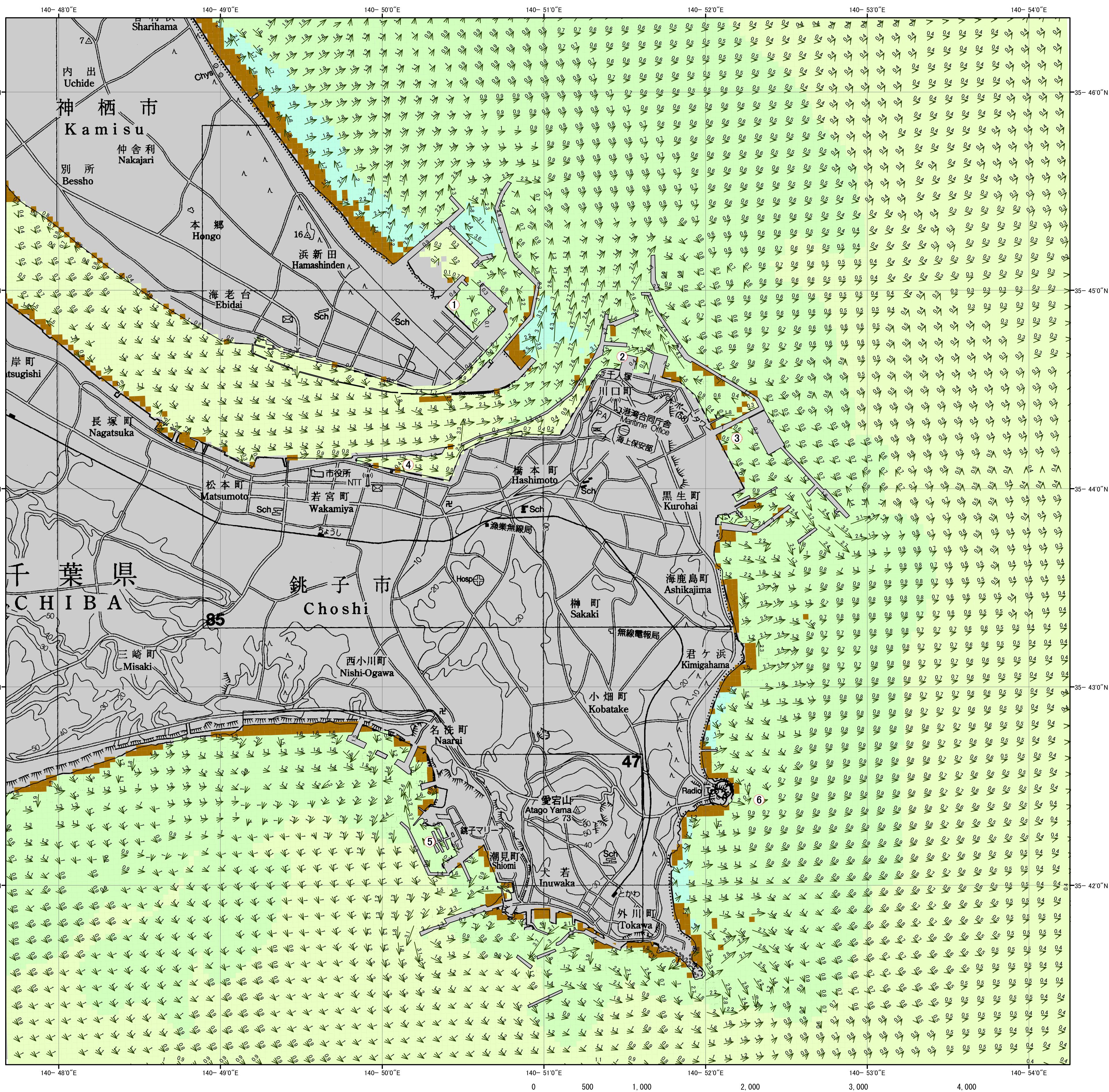
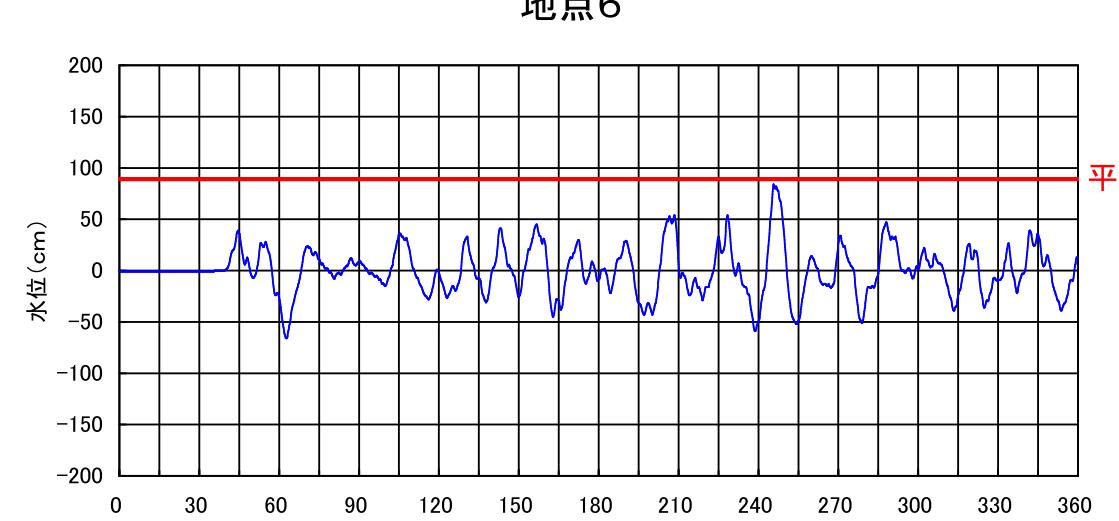
地点4



地点5



地点6



1:20,000
座標系: メルカトル図法
測地系: 世界測地系(WGS84)

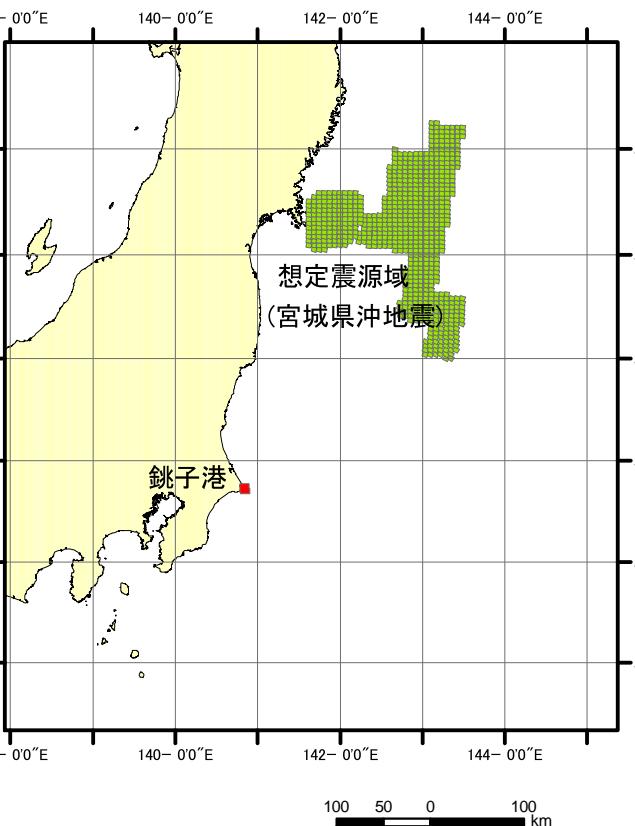
凡例

- 経時変化図出力点
- 露出域
- 最大水位低下
150～最大150cm
- 100～150cm
- 50～100cm
- 50cm未満

進入時最大流[knot]

- 6 knot
- 4 knot
- 2 knot

想定震源域の位置



・本図は、中央防災会議「日本海溝・千島海溝周辺型海溝地震に関する専門調査会」で公表された断層モデルを使用しました。

・この図は発災時から6時間のシミュレーションを行なって作成しています。
海岸構造物は、地震・津波の影響を受けないと仮定して計算しています。
最大流の矢印は、6時間のシミュレーション時間から50mメッシュ×5個(250m×250m)の25個から最大のものを表示しています。
表示されている流速矢印は津波による流向・流速を示しており、海潮流の要素は考慮されていません。

・津波の到達时刻は、水位が10cm上昇した時点を算出しています。
・経時変化図(水位変動のグラフ)は最低水面を基準面として、6時間の津波の水位変動を表示しています。時間による潮汐の変化は考慮されておらず、津波は計算条件の基準面に収束します。

・経時変化図に記載されている赤線は、潮汐がないと仮定したときの水面(平均水面)を現しています。

・陸部の情報は海図から採用しています。

・計算に使用したデータは、海上保安庁海洋情報部のJ-EGG500、J-BIRD、沿岸の海の基本地形データ及び海図を作成する際の基礎データ等を使用しています。

・この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。(承認番号: 平15総使、第672号)